

諏訪・岡谷地方の経済概況速報

平成19年6月

(平成19年5月末調査)

平成19年6月15日

長野県岡谷市郷田二丁目1番8号

諏訪信用金庫
経営相談室

<http://www.suwashinkin.co.jp>

TEL 0266(23)4567

FAX 0266(23)8044

		実 数	前年同期比	
有効求人倍率【4月】	諏訪公共職業安定所管内	1.13 倍	0.11 ポイント	
	岡谷公共職業安定所管内	1.61 倍	+ 0.26 ポイント	
手形交換高【5月】 (諏訪手形交換所扱)	枚 数	14,942 枚	411 枚	
	金 額	22,187 百万円	+ 2,198 百万円	
	うち不渡り発生状況	枚 数	6 枚	+ 2 枚
		金 額	4,860 千円	+ 1,810 千円
車庫証明取扱件数【5月】(諏訪・岡谷自動車協会管内)		1,095 件	4.8 %	
新設住宅着工件数【19年4月】(諏訪地方事務所管内)		174 戸	+ 40 戸	

地域の概況

製造業

自動車部品の下請企業の受注は引続き高水準の企業がみられる一方、減少した企業もみられ、全体としては横這い状況となっている。工作機械は高水準の生産が続いており、専用機などの受注は春以降低迷していたが、新たな引き合いが増える企業がみられるなど一部に明るい兆しが窺える。医療機器部品、デジタル一眼レフカメラ鏡枠などの下請企業の受注は高水準となっている。電気機械、金属加工などの外注企業の受注は横這い状況の企業が多く、部品加工業者から受注不足の声が聞かれるなど一服状況となっている。半導体関連部品は、当面の受注が減少した企業が多い。

地域製造業全体の生産・受注状況は、昨年夏をピークに幾分弱含み傾向となっている。5月も引続き弱含みの横這い状況となっているなかで、素材価格の高騰が受注単価に反映されないなど地域の製造業の業況は踊り場を迎えている。

商業

諏訪地方の5月の天候は、寒暖の差が大きかったものの平年に比べ晴れた日が多くゴールデンウィーク中も天候に恵まれた。「母の日セール」では各店舗とも幅広い品揃えを展開し、定番商品の花のほかスイーツや健康器具などもプレゼント商品として売れ行きを伸ばした。

食料品は、生鮮3品は安定した売上となったが、今後は飲料や加工食品の卸売価格上昇への対応が必要との声がきかれた。

衣料品は、朝晩の寒暖の差が大きかったものの、日中の気温が上がったことから夏物衣料品に動きが出てきた。

ホームセンターは、園芸用品やバーベキュー用品の売れ行きが好調であり、母の日関連では花木類で売上を伸ばした。

観光業

ゴールデンウィークは天候に恵まれ、各観光地は入り込み客が多く賑わった。なかでも、NHK大河ドラマ「風林火山」に関連して「諏訪由布姫まつり」を開催した「上諏訪温泉・諏訪湖」が31万3千人を集め、軽井沢に次いで県内二番目の集客となった。

上諏訪温泉は、「諏訪由布姫まつり」等の効果があり入り込み客は増加した。宿泊客数も増加したホテル・旅館が多く、総体でも前年同月比10%～20%程度の増加となっている。

蓼科・白樺湖・車山方面は、月間を通して入り込み客が落ちず、宿泊客数は前年を上回ったホテル・旅館が多い。

下諏訪温泉の宿泊客数は、増加減少区々であるが、総体では前年並みとなっている。

諏訪大社（上社・下社）の5月の参拝者数は71千人で、前年同期比10千人の増加となっている。「風林火山」に関連した団体バスツアーの立ち寄りが目立つようになってきている。

建設業

市町村の5月の発注工事は78件464百万円で前年同月比186百万円の減少となっている。

県の5月の地元業者への発注工事は6件279百万円で、平成19年4月～5月の累計契約額385百万円と前年同期累計比では362百万円の増加となっている。

民間工事は、4月の新設住宅着工件数が174戸で前年同月比40戸増加している。建築工事で当面の受注量は充足しているところが多いが、コスト競争が激しく収益性改善までには至っていない模様である。

雇用

4月の有効求人倍率は、諏訪公共職業安定所1.13倍、岡谷公共職業安定所1.61倍で、諏訪地域の有効求人倍率は1.29倍と全国（1.05倍）及び長野県（1.20倍）を上回っている。

諏訪職安と岡谷職安を合わせた4月の新規求人（全数）は1,672人で前月比30人、前年同月比176人増加した。

地域の有効求人倍率は、平成15年10月以降43ヶ月連続して1倍を上回っている。

当金庫から見た需資動向に大きな変化はみられない。

業界別動向

1. 電気機械

プリント基板	受注状況は企業により増加、減少区々となっているが、昨年のピーク時より減少しているところが多い。
コンデンサー	自動車用コンデンサーの受注は安定している。
プリンター	大型プリンターは堅調に推移している。部品加工やアッセンブリーなどの下請企業の受注は幾分減少している。
コンダクター・リレー	受注状況は親企業により区々となっているが、総体では安定した推移となっている。

2. 輸送用機械

自動車	受注が安定し堅調な生産を続ける企業が見られる一方で、受注が幾分減少している企業もみられる。自動車業界への参入を目指し受注活動を展開している企業が多くみられ、なかには専用機などの受注が徐々に増えている企業が見られる。
ピストンリング・シリンダーライナー	メーカーは順調な生産を続け、下請企業の受注も高水準で推移している。
船外機	下請企業の受注は旺盛であり高水準の生産を続けている。

3. 一般機械

工作機械	自動車部品加工機、OA機器部品加工機などで順調な生産が続いている。新規の引き合いは幾分慎重となっており、先行きの受注に慎重な見方をしているところが多い。
専用機・省力機器	受注状況に春以降陰りが出ており新規の引き合いは弱含みとなっているが、当初の計画より前倒しの発注がみられるなど一部に明るい兆しも窺える。
搬送用機械	食品関連企業、物流関連企業からの受注は安定しているが、電気機器関連企業からの新規受注は幾分低調となっている。
金型	情報機器や音響機器は機種により増減区々となっているが、総じては幾分弱含みとなっている。
アルミダイキャスト	自動車関連部品の受注は、増加企業が見られる一方で減少した企業もあり、総体では幾分弱含みである。

4. カメラ・レンズ

デジタルカメラ

全国のデジタルカメラの4月の生産台数は845万台で、前月比0.4%増、前年同月比39.3%増となっている。4月の出荷台数は国内出荷106万台、海外出荷758万台で、出荷台数全体では前月比2.8%増、前年同月比41.5%増となっている。前年同期に比べ一眼レフタイプの伸びが大きく、生産では87.9%増、出荷でも73.8%増となっている。(カメラ映像機器工業会) デジタル一眼レフの関連企業で高水準の生産のところもある。

プロジェクター

海外生産が主体となっており、地域企業の受注は減少したまま横這いの状況となっている。

レンズ

ガラスレンズの生産拠点は海外が主体となっており、国内の生産規模は減少している。

5. 織 維

ニット

夏物ニットの生産が最終追い込みの時期を迎え繁忙のところもみられるが、気候の変化による消費行動や売れ筋が掴みきれず苦慮しているところもみられる。

6. 食 品

寒天

一般消費者向け、業者向けともに安定した出荷状況となっている。

味噌

平年並みの出荷状況である。

7. 製 材

諏訪地方の4月の木造住宅着工件数は103戸で前年同月比21戸減少した。木材は国際需給が引き締まり、輸入材価格の上昇に伴い国産材価格も上昇している。建材の動きは堅調である。

8. 建 設

公共工事

5月に地元業者が受注した県関係公共工事は、発注機関別では諏訪建設事務所4件、林道治山工事関係1件、その他土木工事1件の合計6件、契約金額279百万円となっており、平成19年4月～5月の累計契約額385百万円と前年同期累計比では362百万円の増加となっている。市町村の5月の発注工事は、建築工事5件101百万円、土木工事・下水道工事57件247百万円、その他工事16件115百万円の合計78件464百万円で前年同月比では186百万円の減少となっている。

民間工事

諏訪地方の4月の新設住宅着工件数は174戸で前年同月比40戸増加している。当面の受注量は充足しているところが多いが、コスト競争が激しく収益性改善までには至っていない模様である。

9. 商 業

諏訪地方の5月の天候は、寒暖の差が大きかったものの平年に比べ晴れた日が多く、日照時間は1945年の統計開始以来4番目の多照となった。ゴールデンウィーク中も天候に恵まれ、園芸用品などの売れ行きは好調であり、夏物衣料品にも動きが出ている。

また、「母の日セール」では各店舗とも幅広い品揃えを展開し、定番商品の花のほか、スイーツや健康器具などもプレゼント商品として売れ行きを伸ばした。

衣料	昼夜の寒暖の差は大きかったものの、日中の気温が上がったことから夏物衣料品に動きが出ている。
食料品	生鮮3品は安定した売上となった。飲料や加工食品等で卸売価格の上昇が見られるが、店舗間競争から販売価格に転嫁しにくいとの声がかかる。
家電製品	薄型TVの動きは堅調であり、白物家電にも動きが出ている。
自動車	諏訪地方の5月の車庫証明件数(軽自動車除く)は1,095台で、前年同月比55台(4.8%)となった。また、軽自動車の販売台数は398台となっている。
ホームセンター	園芸用品やバーベキュー用品の売れ行きが好調であり、「母の日」関連では花木類が売上を伸ばした。
デパート	衣料品の動きが良く、婦人服、紳士服ともに前年を上回っている。

10. 観 光

ゴールデンウィークは天候に恵まれ、各観光地は入り込み客が多く賑わった。なかでも、NHK大河ドラマ「風林火山」に関連して「諏訪由布姫まつり」を開催した「上諏訪温泉・諏訪湖」が31万3千人を集め、軽井沢に次いで県内二番目の集客となった(県観光部調査)。

上諏訪温泉	「諏訪由布姫まつり」等の効果もあり、入り込み客は増加した。宿泊客数も増加したホテル・旅館が多く、総体でも前年同月比10%~20%程度の増加となっている。
蓼科・白樺湖・車山	ゴールデンウィークの入り込み客は前年並みであったが、月間を通して入り込み客が落ちず、宿泊客数が前年を上回ったホテル・旅館が多い。
下諏訪温泉	宿泊客は増加、減少区々であるが、総体では前年並みとなっている。
諏訪大社	上社、下社合わせた5月の参拝客数は71千人で、前年同月比10千人の増加となっている。「風林火山」に関連した団体バスツアーの立ち寄りが目立つようになってきている。